

国債に係る海外説明会（海外IR・第6回）について

1. 開催場所、日時

日付	都市	参加人数
3月1日（木）	ロンドン	（注1）
3月2日（金）	フランクフルト	62名
3月5日（月）	ミラノ	36名
3月6日（火）	ルクセンブルク	32名
3月7日（水）	パリ	53名

（注1） ロンドンにおいては、“The Japan Fixed-Income Forum”（開催：ユーロマネー）に海外IRの一環として、渡辺財務官及び鷺見理財局国債企画課長が参加。

（注2） ロンドン及びパリにおいて記者会見を実施。読売、日経、朝日、時事通信、ダウ・ジョーンズ、共同通信、ロイター、ブルームバーグの各社が参加。

（注3） 招待客の選定、会場の設営等について国債市場特別参加者の協力を得た。

（注4） 以上のほか、投資家に対する個別の説明も行った。

2. 説明の概要

- （1）日本経済の現状及び財政構造改革について（説明者：渡辺財務官）
- （2）国債管理政策について（説明者：鷺見理財局国債企画課長）
- （3）エコノミスト等による説明
- （4）質疑応答

3. 主な質問等

【日本経済の現状・財政構造改革関係】

- ・ 為替相場について
- ・ 円キャリートレードの動向について
- ・ 日銀の金融政策について
- ・ 消費税を含む税制改革について

【国債管理政策関係】

- ・ 40年債の入札方法、発行時期について
- ・ 国債市場の流動性を向上させる方策について